

2022年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 自立援助ホーム夢舞台代表者・役職名 氏名 新井 秀親・ホーム長

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

あたたかい食卓環境づくりのための備品購入

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2010年、NPO 法人青少年の自立を支える埼玉の会「だいさんの家」閉鎖に伴いリニューアルオープンとして「夢舞台」として開所。

2013年、定員6人より8人へと増員。

2014年、発展的独立としてNPO 法人青少年の自立を支える埼玉の会よりNPO 法人夢舞台となる。

2017年、認定NPO 法人認証。

2018年、川越移転。

2021年3月現在、会員数:正会員15名、賛助会員93名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

SNSの普及や新型コロナウイルスの流行により個人で余暇を楽しむことが増えています。もちろんそのような時間も大切ではありますが、社会に出て自立していくためには他人との直接的なコミュニケーションは避けては通れません。利用者に食卓やリビングという共同の場で自分だけではなく、他人と時間や話題を共有するおもしろさを感じる機会を提供し、憩いの場となることを期待したいです。さらにSNSを通して自分を発信する時代の流れに、利用者の多くが楽しみを感じているのでテレビにつなぐことでホーム全体で利用者の思い思いの表現方法を一緒に楽しむこともしたいです。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

ホーム1階のリビングに高画質、高性能テレビ1台とテレビスタンド1台を設置します。

主に食事中など利用者の団樂の時間に使用します。動画配信サービスで映画を視聴したり、YouTubeを観たり、スマートフォン等と接続して利用者個人がSNSを通して発信しているものをみんなで観て楽しめます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

7月下旬にテレビとテレビスタンドを購入し、リビングへの設置が完了しました。利用者からは大画面、高性能のテレビに感激の言葉が聞かれました。なかなか他の利用者とのコミュニケーションが取れなかった利用者がスマートフォンと接続して動画を楽しむことをきっかけに少しずつ言葉を交わす姿も見受けられました。音楽番組が放送された時には音の響きが違ふと喜び、食卓に集まって楽しむ様子もありました。食卓に集まってきた利用者を中心にスタッフも加わり、今日のできごとや明日のこと、これからのことをお互いに話したり聞いたりして、明日の活力にしていこうとする雰囲気食卓から生まれています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

現在、ホームの特色の一つとして「勤続表彰」というものを行っています。利用者ミーティングという公の場で、勤続3カ月、6カ月、1年という区切りでスタッフより直筆の手紙を読み上げるという試みをしています。これは利用者の自己肯定感及び自己効力感を育み、また、勤労への意欲を生み出しています。ここに、手紙だけでなく、大画面を通して、ビデオメッセージを流すことも展開の一つとして考えています。

また、夏に旅行などのイベントも行って、動画を撮ることも多いため、そのような動画を利用者やスタッフで振り返って思い出を楽しむことにも使っていくことを視野に入れていきます。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

